

令和8年度 多職種連携研修会アンケート 結果（災害研修）

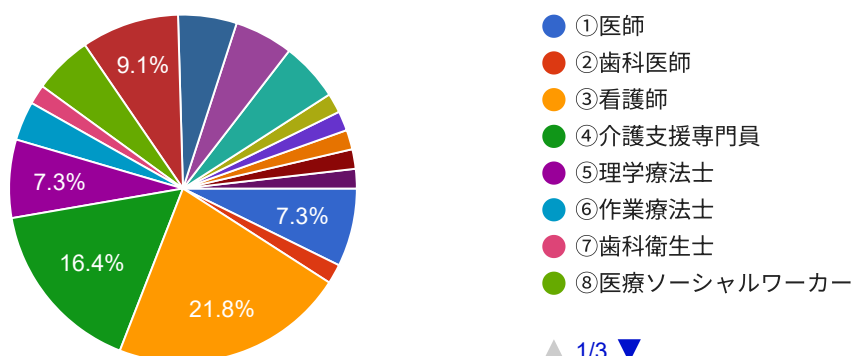
55 件の回答

[分析を公開](#)

1.職種

55 件の回答

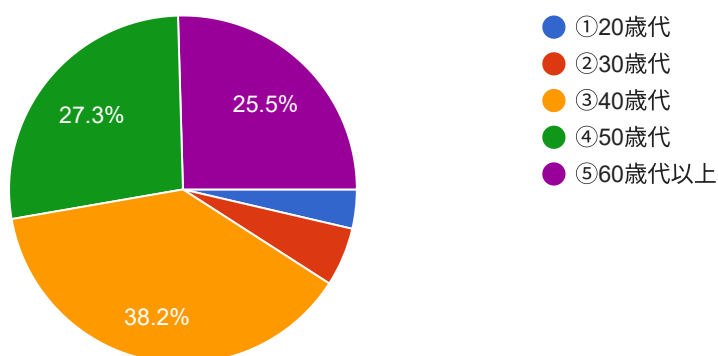
[グラフをコピー](#)



2.年代

55 件の回答

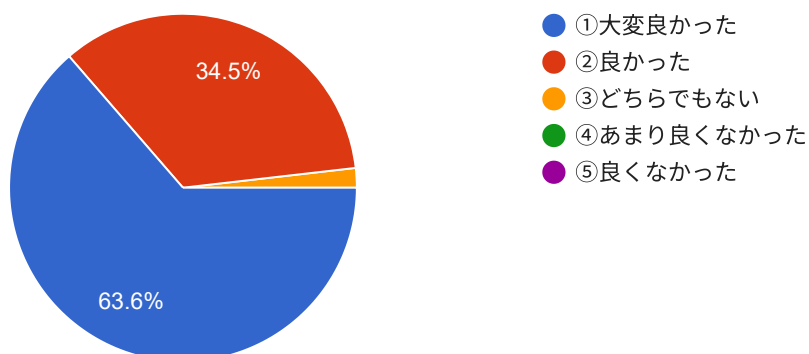
[グラフをコピー](#)



3.「発災時の多職種連携の備え」の内容についていかがでしたか？

55 件の回答

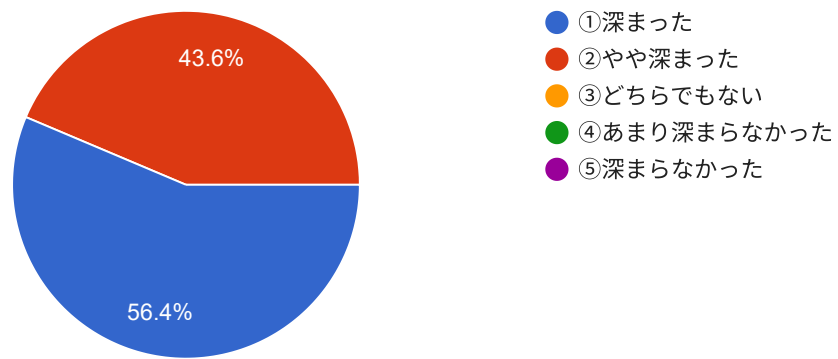
[グラフをコピー](#)



4.災害時での多職種連携について理解度はどうでしたか？

 グラフをコピー

55 件の回答



5.災害時における職種間での役割について大切だと感じることは何だと思いますか。

49 件の回答

日頃から多職種の関わり方「顔の見える」が大切だと思った。

事前に備える事に対して、リアリティーをもって考え、整備する事が大切だと感じました。

普段より連携がとれるようなシステム作り

シミュレーションは大切であると感じた。
役割分担

自分が何ができるかを理解し、やれることをやること

平時からの備えが大切。顔の見える関係作りが大切。
可能であれば他職種での訓練ができれば良いなと感じました。

情報共有、相手の仕事を理解してどう動くのか明確な役割分担が必要と感じた。

日頃から災害に備えて準備をしておくこと。
横のつながり、要支援者について情報共有しておくこと。

- ・指揮系統の一元化
- ・平時からの「顔の見える関係」作り、「訓練」
- ・情報共有の統一化

誰が何をするのか、指示する人、動く人、準備する人等シミュレーション等しないと動けないと思われる。その時にならないと分からないことが多いと思うが、予定出来ること、考えられること、準備できることを平常時に備えておきたいです。

顔が見える関係以上の関係性を日々努めてコミュニケーションを取っていく必要性を感じた。
市町村単位からでも各々の関係性を見つめ直す必要があると思う。

普段から顔見知りとなり、それぞれの役割を明確化しておくことが大切だと思いました。

それぞれの役割を明確し、全体を通しての質の向上が必要だと思います。

管理栄養士として災害時の食事は空腹を満たすだけでなく、その方に合った内容であるかを把握し、治療や予防につなげる手段の一つであると考えます。そのためにも、平時から「顔の見える関係」作りを大切にし、災害時に誰を一番に優先すべきか、アレルギーや服薬はどうかを確認しやすい関係が大切だと思います。

平時の備えがとても大事だと思いました。
今後の研修でより深めていけたらと思います。

それぞれの役割の把握と先生がおっしゃる様に日頃から顔の見える関係が大切だと思います。その中で、人の命を守ること、またその方々の生活を守るためには各職種の専門性が発揮できる準備はとても重要だと思います。



避難所の生活環境改善

情報共有とアクションの内容の明確化
自分ができることを見直す

支援するスタッフの精神的フォローが大切である。

顔の見える関係を築くことが連携につながると思います。
また状態共有、お互いの仕事を共有する事も大事だと思いました。

平時からの防災訓練
ネットワーク作り

平時から、顔の見える関係づくりを行い有事の際の物理的、心理的なやりとりの負担感を軽減する取組みが必要だと思いました。

現場での初期活動がどう動いていた（いる）のかよくわかりました。
私達は平穏期等に入りましたが、別の連携が必要で、ドクター、ナースにはいつもお世話になっています。

多職種の相互理解なのだろうなと感じました。私は行政の立場として、住民の方に防災の話などをしたりしますが、ある種視野が狭くなっているなと感じました。備蓄品の購入や避難所、運営の物品購入など行っていますが、使われる方の想定などできていないのではないだろうかと思つめ直す良い機会になりました。このような機会に多職種の方の視点や考え方を取り入れ、理解し合うことが大切なのだろうと思っています。

講演内容が素晴らしかった。
平時より顔の見える関係を築くことが重要でしょう。

- ・支援者が自立して支援すること
- ・支援者を守る体制

いつ災害が起きてもおかしくない現状で、日頃より防災に関しての備えやシミュレーション、情報交換・共有、顔の見える関係が必要だと思いました。

職種間での「できる事」「できない事」を把握する（お互いの強み弱みを理解する）

平時からの顔の見える関係作りは必要だと思います。
多職種で役割分担の確認ができれば色々な対応がスムーズに行くのではないかと思います。

まず良く観察して、自分ができることは何かを判断し実行する。そして医療につないだり情報を共有してチームで動くことが大切と思いました。

- ・日常からの連携が大事
- ・平常時の訓練が必要、地域づくりと併せて体制づくりをする。

災害時には支援者間の役割を明確化し協力すること。また、多数の支援者（同じ時期に偏らず）が必要だと感じました。
平時の備えをしっかりと行うことも必要と思いました。



平時からの対応

- ・多職種合同訓練（行政、医療、福祉、社協、消防）
- ・役割分担の事前確認（CMが何を担うのかを確認し情報共有しておく）

顔が見え、気軽に話ができる関係作り。知っている人がいれば、モチベーションが違ってくることを感じた。テレビでは分からなかった地震についての知識を理解できた。院外だけでなく院内連携も必要になると思う。

専門職の役割分担の明確化を平時から確認しておくことが大事だと思いました。

- ・誰が何をやるのか明確にすることと、自分が災害時にどう動くのか日頃から考えておくこと
- ・情報の共有

感染について

日頃からの訓練また意識

色々な状況や情報を統括できる人の存在や、的確な指示を出せる様な存在の人を中心にそれぞれの役割を担ってくれる人がいること。コミュニケーションや情報交換、ルール作り

それぞれの職種で役割があると思います。

情報共有が大切で、感染症の予防も必要だと感じました。

それぞれの役割、連携がとても大切だと思いました。

今後に活かしていきたいと思います。

平時からの備え（施設勤務してます）

- ・要配慮者名簿の整備（地震などで建物が倒壊した場合、情報をどうするか）
- ・生活環境の見直し、点検（オムツの保管、手指皮膚の清潔）
- ・薬剤管理の多職種連携
- ・要支援者の健康管理の大切さ、一後回し、手遅れになりやすい

専門職の役割分担を明確することで、支援の質が上がるということを学んだ

日頃から役割分担を決めておく必要があると感じた。

事前確認

顔の見える関係

顔の見える関係作りと連携

情報共有、声かけ、言葉かけ、自身の役割を常に意識しておく。専門職と他職種とのコーディネートをする「力」

職場での訓練又、組織の理解、統一化、地域性を知る

事前準備

- ・情報共有
- ・専門職の分担の明確化



情報の共有・連絡網の確立
平時からの顔の見える付き合い

6. 今後の多職種連携協議会の研修会において取り上げて欲しいテーマは？

13 件の回答

事例検討会、グループワークなど

災害のシミュレーション

災害時の連携の訓練を実践してはどうかと思った。

具体的な動き働きを考えて、実施して、必要なことを知りたい。

医療・介護のICTの活用（現場レベルで使えるもの）

各職種ごとの課題共有する場

感染症について（多職種の役割）

行政に求めること（多職種の視点から）

大川市の災害、多職種連携の役割整備

糖尿病治療（リブレ、インスリン注射）の最新情報

災害後に生きて行く毎日のその後について、連携していくことについて

今後も年に一回は防災に関する研修は必要と思う。

ACPについて

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - [フォームのオーナーに問い合わせる](#) - [利用規約](#) - [プライバシー ポリシー](#)

このフォームが不審だと思われる場合 [報告](#)

Google フォーム

